

解答

一

問一

① とな〔え〕 ② 縦 ③ 尊厳

問二

Ⅰ エ 2 オ 3 イ

問三

ア

バリアフリーは車椅子でも快適に生活ができるデザインを目指す、ユニバーサルデザインは誰にでも使いやすいデザインを目指す。

問四

たとえば、私は左 へ ればなりません。

問五

身体能力や年齢や職業などによって、さまざまに要望は異なるから。

問六

● サイズがいろいろある。

問七

● 吸収力が大きい。

問八

● 履かせやすい。

問九

● おむつだとはわからないデザイン。

問一〇

ウ

二

問一

① 心底 ② 祖父 ③ 拾〔い〕 ④ じみ

問二

悔しくて泣いている

問三

医師になること

問四

進学塾も予備校もない、十分に勉強ができる環境が整っていない田舎に住んでいること。

問五

エ

問六

ウ

問七

嫌いなこともつまらないことも一緒にやれば乗り切れ、楽しみすら見出せる力を持つ、自分にとってたった一人の友達。

問八

嫌いなこともつまらないことも一緒にやれば乗り切れ、楽しみすら見出せる力を持つ、自分にとってたった一人の友達。

解説

一

問四

続く文章で「バリアフリーは、車椅子でも快適に都市生活が営めるよう」にすることを目指しているが、「ユニバーサルデザインは・・・『誰にでも』使いやすいデザインを目指す」と述べているが、

二

問四

「こんな村じゃ、十分な勉強なんてできない。札幌や大きな街の子は、なんの苦労もなく進学塾や予備校に通っている」「環境が違うんだ、勉強する環境が・・・こんな田舎にいて、それだけですごいハンデだ」など、学の発言を要約して答えましょう。

問八

憲太は学のことを「嫌いだったつまらない時間、一緒にいさえすれば、乗り切れる。」「楽しみすら、見出せるかもしれない。」「そういう力を持つ、自分にとってたった一人の相手。」と述べていると描写されています。